第106回人間関係講座（コミュニケーション）春

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	楠本　和彦（南山大学人文学部教授） 森泉　哲　（南山大学国際教養学部教授）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、楽しく参加しながら人間関係の主要領域についての理論と実際を同時に学びます。更に人間関係に関して自分自身の在り方に気づき、成長の手がかりを握み実践していくことを目指しています。ここでは、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てて進めていきます。 この講座を学ぶねらいは以下の３つの分野です。 ① 自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深めること ② 話したり聴いたりする時の自分の特徴に気づき、話す・聴くというコミュニケーション能力を高めること ③ 対人関係における感情の重要性に気づき、感情表現の多様性と幅を広げる ご自分についてより深く知りたいという方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたいという方など、さまざまな方にお勧めです。 【プログラムの内容（予定）】 小講義「コンテントとプロセス」「体験学習のサイクル」「コミュニケーション・モデル」など コミュニケーション実習（実習「聴く」等）とふりかえり ノンバーバル・コミュニケーション実習（実習「セルフバッグ」等）とふりかえり 個人の気づきの実習（価値観明確化の実習等）
	2017年11月17日（土） 10：00～18：00 11月18日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	各36名
会場	南山大学　Ｄ棟　D42・43教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　森泉　哲　記 2017年6月10日（土）・11日（日）の2日間、第106回人間関係講座（コミュニケーション）が開催されました。楠本先生と森泉が担当し、参加者は27名でした。受講生の皆様のコミュニケーションに対して真剣に考え、理解を深めていこうという積極的な雰囲気があふれている講座となりました。 ２日目の最後に行われたわかちあいでは、「今までコンテントばかり見ていたので、プロセスについて注目していきたい」「いままで気づいていない自分の部分について実習を通して気づくことができた」「自分の枠組みがよい意味でも悪い意味でもコミュニケーションに影響している」など、コミュニケーションへの新たな気づきが出され、体験学習を通して受講者の皆様に新たな学びがあったのだと、こちらも聞いていてうれしくなりました。 受講生のお一人から私たちに、「日頃のコミュニケーションでコンテントとプロセスをどうしているのか」という日常のコミュニケーションの実践に関する質問をいただきました。正直言いまして、私も理論的にはわかっているつもりではおりますが、実際のコミュニケーションとなると、自分でもうまくできているのか自信がありませんし、あとになって、「こういっておけばよかったかも」と思うことは多々あります。また、場面、状況、関係性が異なる日常のコミュニケーションにおいては、必ずしもこれという正解があるわけではありません。こう考えると、まずは体験を通して、「コンテント」と「プロセス」の両面に目を向けることが重要であると納得し、日々の実践で、絶えず「コンテント」と「プロセス」となるデータを集めながら、その時にベストと考えられるあり方を実践していくことなのかなと思いました。このことについても、また皆さんと「コミュニケーション」を通して、自分も理解を深めていきたいと思います。 また皆さんの日ごろのコミュニケーションの実践や取組みについて共有できる機会があることを楽しみにしております。2日間、どうもありがとうございました。